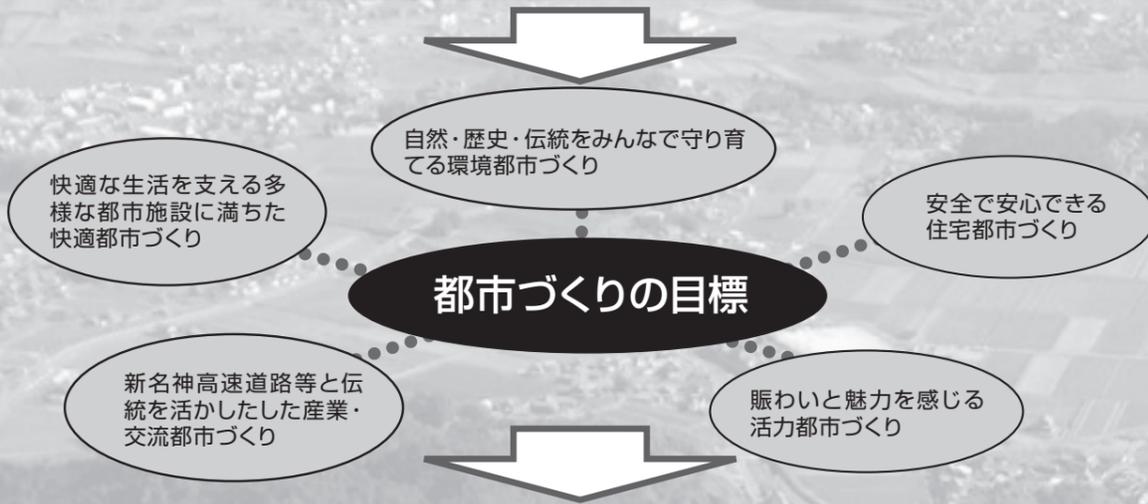


甲賀市総合計画《甲賀市の将来像》

人 自然 輝きつづける あい甲賀



都市計画マスタープラン《都市の将来像》

ひとが輝き、住みよさと活力に満ちる あい甲賀

ひとが輝き

住みよさと

活力に満ちる

都市づくり

市ではこのほど、甲賀市特有の社会情勢や市民の意向を踏まえ、都市計画に関する基本的な方針(都市計画マスタープラン)を策定しました。

これは、甲賀市総合計画の将来像を踏まえつつ、都市計画上の視点で、住宅・商業・工業等の都市的なまちづくりについて具体的に示したものです。

都市づくり・まちづくりの主役は市民の皆さんです。生き生きと輝き、活動することをめざし、そして、豊かな自然環境に包まれ、安全で安心できる居住環境を備えた住みよい都市、また活力ある産業と文化に満ちた都市の創造をめざします。

甲賀市都市計画マスタープランを策定

将来的な都市の構造

都市の将来像を実現するため、本方針では目的を定め、具体的に用途を区分けしています。

1. 都市軸

① 国土連携軸  
新名神高速道路と国道1号を位置づけ、近畿圏、中京圏などの交流を促進し、産業・観光・文化等の活力ある都市づくりを目指します。

② 広域連携軸

一般国道307号、422号、477号等の主要な幹線道路を位置づけ、周辺都市との連携を強化し、広域的な交流の強化を目指します。

2. 都市核

① 都市拠点・副都市拠点

水口町の中心地を都市拠点、土山町・甲賀町・甲南町・信楽町の中心地を副都市拠点に位置づけます。都市拠点は商業・業務等を中心とする都市機能、副都市拠点は各地域の日常生活を支える商業・業務等とともに地域個性を活かした都市機能の集積を図ります。

② 工業・流通業務拠点、新産業拠点

既存工業団地とインターチェンジ周辺の新たな産業用地を位置づけ、活力に満ちた産業の創造と多様な就業の場の確保を図れるように充分に検討します。

③ 観光・歴史交流拠点

信楽インターチェンジ及び紫香楽宮跡遺跡群周辺を観光・歴史交流拠点(国際陶芸産業都市特区指定)に位置づけ、地域の環境を保全しつつ歴史的遺産や信楽焼等の伝統工芸を生かした観光や交流を促進します。

また、自然と共存している青土ダム・野洲川ダム周辺を活かし観光客の誘導を図り、さらに甲賀流忍者や宿場町等の観光資源を活かした町づくりも併せて促進します。

④ 医療・福祉等複合機能拠点

水口町域において、医療・福祉施設の充実や生涯学習、地域産業振興、居住等の多様な都市機能の誘致を方針として、医療・福祉等複合機能拠点の形成を検討します。

⑤ 交通拠点

JR草津線貴生川駅周辺を交通拠点に位置づけ、鉄道相互やバス交通との乗換えが円滑に行えるように交通結節機能の充実を図ります。

3. 都市空間

① 市街地ゾーン

現行の用途地域を市街地ゾーンに位置づけ、道路・下水道等の充実を図るとともに、多様な都市機能の集積と安全で安心できる生活空間づくりを図ります。

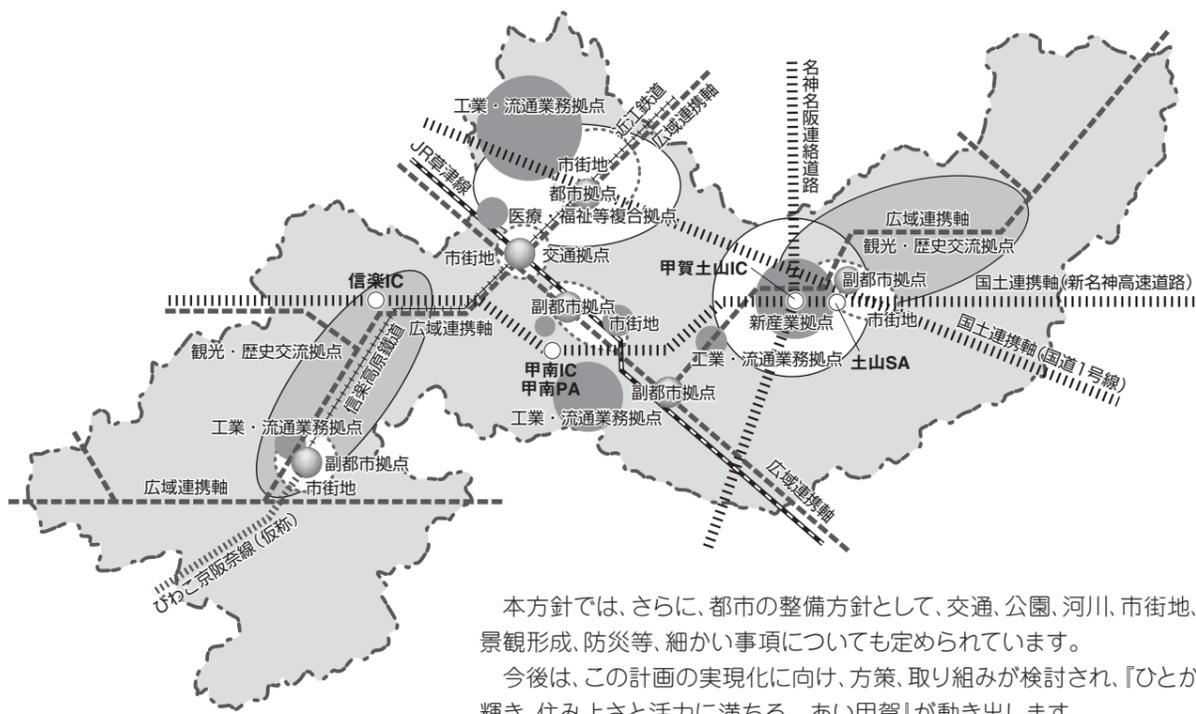
② 田園ゾーン

農地と集落地等が共存する地域を田園ゾーンに位置づけ、優良農地の保全を図るとともに、地域コミュニティの個性を保持し活力が発揮できる田園地帯づくりを図ります。

③ 森林ゾーン

保安林や自然公園地域を中心とする山地を森林ゾーンに位置づけ、森林が有する水源かん養、治山治水、保健休養、自然環境のコントロール等の多面的機能が発揮し得るよう保全を図ります。

将来都市構造図



本方針では、さらに、都市の整備方針として、交通、公園、河川、市街地、景観形成、防災等、細かい事項についても定められています。今後は、この計画の実現化に向け、方策、取り組みが検討され、『ひとが輝き、住みよさと活力に満ちる あい甲賀』が動き出します。詳細は、市ホームページおよび都市計画課、各支所で閲覧できます。

問い合わせ 都市計画課 計画係 ☎65-0719 FAX63-4601